

第 28 回 橋に関するシンポジウム



「鋼構造のメンテナンス技術 ～補修から更新まで～」

土木学会鋼構造委員会では、委員会活動の紹介、最新情報の発信、研究者・技術者の交流などを目的として、1998 年より「鋼構造と橋に関するシンポジウム」、2020 年から「橋に関するシンポジウム」を企画し、主に鋼構造物に着目した設計・施工・維持管理・点検・診断技術や新材料・新技術などの最新動向について話題提供を行ってきました。

近年、高度経済成長期に建設された構造物の老朽化が進み、土木施設の新設から維持管理へのシフトが進んでおり、メンテナンスの着実な実施に向け、既設構造物の強靱化・長寿命化の取組みへの投資が益々拡大しています。

そこで、今回の橋に関するシンポジウムでは、「鋼構造のメンテナンス技術」に着目し、最新の研究活動や事業の特性、高度な技術、工夫などについて報告いただくこととし、企画しました。

1. 主 催：土木学会（担当：鋼構造委員会）

後 援：日本鉄鋼連盟、日本橋梁建設協会、鋼橋技術研究会、建設コンサルタンツ協会、
中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社、首都高速道路株式会社、
阪神高速道路株式会社、本州四国連絡高速道路株式会社（予定）

2. 日 時：2025年 8 月 1 日（金）10:30～17:40（予定）

（会場参加の場合 受付開始 10:00 受付終了 16:00）

3. 場 所：大阪公立大学 文化交流センター、および、オンライン開催（Zoom ウェビナー）

（大阪府大阪市北区梅田 1-2-2-600 大阪駅前第 2 ビル 6 階）

4. 定 員：会場参加 60名（申込先着順） オンライン（Zoom）参加 250名（申込先着順）

5. 参加費（税込）：会員；5,500 円，非会員；6,600 円，学生；無料

※オンライン参加では、上記の参加費に加えオンライン費用として 1,100 円を別途徴収致します。

※学生はオンライン参加の場合も無料です。

6. 申込み締切日：クレジットカード決済：2025 年 7 月 29 日(火)
コンビニ決済：2025 年 7 月 22 日(火)

7. 申込方法：下記の土木学会 HP からお申込み下さい。

【会場参加】 <https://www.jsce.or.jp/events/form/252501>

【オンライン参加】 <https://www.jsce.or.jp/events/form/2525011>

※参加区分にご注意の上、お申込みをお願いいたします。

決済完了後の変更及びキャンセルはできませんので予めご了承ください。

8. 問合先：土木学会研究事業課 鋼構造委員会担当事務局宛

MAIL: momoi “at” jsce.or.jp (“at”を@に変更して下さい)

9. シンポジウムプログラム ※詳細は変更の可能性があります。

(1) 開会の挨拶(10:30~10:40)

鋼構造委員会 委員長

(2) 委員会活動報告(10:40~11:10)

鋼構造委員会 委員長

【論文報告】(11:10~11:45) ※質疑応答 5 分

(3) 鋼桁パネル隅角部の挙動に着目したせん断力を受ける鋼 I 桁の機能面からの限界状態の検討

国土交通省 小野 健太 様

~~~ 昼 休 憩 (11:45~12:45) ~~~

【話題提供】(12:45~14:15) ※質疑応答 5 分

(4) 湊町・難波地区鋼製基礎大規模更新工事の取組について(12:45~13:30)

阪神高速道路株式会社 田島 祐介 様

(5) 鋼鉄道橋の支承部における疲労き裂の対策工法(13:30~14:15)

公益財団法人鉄道総合技術研究所 吉田 善紀 様

~~~ 休 憩 (14:15~14:25) ~~~

(6) 経年劣化および震災による損傷に伴う旧天王橋の撤去(14:25~15:10)

株式会社横河ブリッジ 政門 健一 様

(7) 長大橋維持管理における DX の取組(15:10~15:55)

本州四国連絡高速道路株式会社 氏本 敦 様

~~~ 休 憩 (15:55~16:10) ~~~

【小委員会報告】(16:10~17:30)

(8) 鋼・合成構造標準示方書施工編小委員会

新しい桁端構造に関する調査研究小委員会

高力ボルト摩擦接合継手の設計・施工・維持管理指針(案)改定小委員会

鋼構造若手技術交流小委員会(新設小委員会)

鋼構造スキルスタンダード検討小委員会(新設小委員会)

(9) 閉会の挨拶(17:30~17:40)

鋼構造委員会 副委員長

以 上